

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月4日

上場会社名 株式会社免疫生物研究所
 コード番号 4570 URL <http://www.ibl-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業統括推進本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 清藤 勉
 (氏名) 中川 正人

TEL 0274-22-2889

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	140	12.7	△50	—	△60	—	△62	—
28年3月期第1四半期	124	5.1	△42	—	△41	—	20	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △62百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 20百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△8.65	—	—	—
28年3月期第1四半期	3.18	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
29年3月期第1四半期	4,119	3,272	3,272	2,786	79.4	82.8
28年3月期	3,356	2,786	2,786	2,786	82.8	82.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 3,270百万円 28年3月期 2,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	800	11.5	△180	—	△180	—	△190	—	△28.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社の業績予想は、「中期経営計画」をベースに作成しており、その達成(施策等)においては、年間を通して評価を行っております。そのため、業績予想は通期業績予想値のみを開示いたしました。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	7,292,590 株	28年3月期	6,752,590 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,130 株	28年3月期	1,130 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	7,174,536 株	28年3月期1Q	6,546,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における、当社グループのセグメント別の業績は、下記のとおりとなりました。

・診断・試薬事業

研究用関連において、当社の主力製品である抗体関連試薬の売上高は、国内販売については順調に推移しましたが、海外販売においては円高等の影響により減少いたしました。また、受託サービスの売上高は、積極的に直接ユーザーへ販売活動を実施することによりユーザーのニーズをくみ取り、前年に比べ大幅に増加いたしました。

医薬用関連においては、マイコプラズマ感染症の診断薬原料の販売が順調に推移しておりますが、自社製造の動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キットの販売が、検査対象の減少が見込まれる等の影響により減少いたしました。なお、当事業においては、新規治療薬シーズの開発や体外診断用医薬品の製品開発を積極的に行っております。

その結果、当セグメントの売上高は114,000千円（前年同期比41.4%増）となり、前年同期の買戻し処理の影響により前年同期に比べ増加いたしました。営業利益は4,138千円（前年同期は10,382千円の営業利益）にとどまりました。

・遺伝子組換えカイコ事業

当事業において、大手動物医薬品企業及び大手体外診断用医薬品企業との共同研究は、順調に継続して進行しておりますが、売上高につきましては、候補タンパク質の販売が少量にとどまりました。なお、大手動物医薬品企業および大手体外診断用医薬品企業からの抗体受託サービスならびに診断用医薬品原料販売の売上高につきましては、年間を通じて計画的に行っております。その結果、当セグメントの売上高は5,267千円（前年同期比64.3%減）、営業損失は42,024千円（前年同期は37,549千円の営業損失）となりました。なお、当セグメントにおいては、アステラス製薬株式会社と遺伝子組換えカイコで生産したヒト型フィブリノゲンを原料とした医薬品の製品化へ向けた共同研究や株式会社CUREDとの共同研究として、同社が所有する抗HIV抗体のADCC活性を当社の遺伝子組換えカイコ技術を用いて飛躍的に増強させ、HIV感染症を治療する画期的な抗体医薬品の実用化を目指し共同開発等を積極的に進めております。また、株式会社ニッピとの共同研究により開発した、iPS細胞等の培養足場材として有効であるラミン511-E8 フラグメント（ラミン511-E8）を研究用試薬原料として販売する準備を進めております。

・検査事業

当事業の主力である、ゲルろ過HPLC法を応用したシステムにより、血中リポタンパク質分画の詳細プロファイリングデータを解析する受託サービス（LipoSEARCH）においては、前年度に比べ、国内製薬企業からの大型案件が終了したことにより売上が減少いたしました。海外に向けて、学会展示によるプロモーション活動を積極的に展開しており、今後の受注獲得に期待が持てます。また、動物病院におけるコンパニオン・アニマルの診断支援サービス（LipoTEST）においては、新規顧客獲得のためのセミナー等の活動が終了したこともあり、受注が伸び悩みました。その結果、当セグメントの売上高は20,462千円（前年同期比23.0%減）、営業損失は10,420千円（前年同期は8,428千円の営業損失）となりました。

・化粧品関連事業

当第1四半期において、当社グループが開発した化粧品原料「ネオシルク[®]-ヒトコラーゲンI」配合化粧品「フレヴァン」の通信販売の売上高は、広告宣伝効果の検討等を実施していたことにより効果的な宣伝広告等が遅れ、新規顧客の獲得が減少いたしました。その結果、当セグメントの売上高は2,196千円、（前年同期比29.1%減）、営業損失は2,783千円（前年同期は7,152千円の営業損失）となりました。第2四半期以降は、効率的な広告活動を展開し、継続して、ダイレクトメールや電話によるアウトバウンド等の活動を実施し、新規会員の獲得と会員様からのリピート率の向上を図ってまいります。また、販売網の拡大を目指し、大手量販店への営業活動を行ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、140,825千円（前年同期比12.7%増）となりました。利益面においては、遺伝子組換えカイコ事業の研究開発等への積極的な投資により、営業損失が50,849千円（前年同期は42,507千円の営業損失）、経常損失が60,809千円（前年同期は41,560千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失62,109千円（前年同期は20,852千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比22.7%増の4,119,454千円となりました。増加の主な要因は次のとおりであります。

新株予約権の行使及び金融機関からの新規借入等による資金調達等より現預金が711,590千円増加したこと、前橋研究所の新設により建設仮勘定が52,252千円増加したこと、出資により投資有価証券が79,800千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は前連結会計年度末比48.6%増加し、846,958千円となりました。増加の主な要因は次のとおりであります。

金融機関からの新規借入等により1年内返済予定長期借入金及び長期借入金が269,978千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末比17.4%増の3,272,495千円となりました。

増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により繰越利益剰余金が62,109千円減少した一方、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ276,077千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	973,594	1,685,185
受取手形及び売掛金	219,853	133,897
商品及び製品	47,109	51,618
仕掛品	127,505	135,330
原材料及び貯蔵品	99,198	103,258
その他	17,837	17,952
流動資産合計	1,485,099	2,127,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	444,906	438,067
機械装置及び運搬具(純額)	14,202	13,752
土地	362,687	362,687
建設仮勘定	680,580	732,832
その他(純額)	71,191	66,691
有形固定資産合計	1,573,567	1,614,032
無形固定資産		
のれん	156,829	154,556
その他	20,977	21,762
無形固定資産合計	177,806	176,318
投資その他の資産		
投資有価証券	55,234	135,034
その他	64,613	66,826
投資その他の資産合計	119,848	201,861
固定資産合計	1,871,222	1,992,212
資産合計	3,356,321	4,119,454
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,877	11,663
1年内返済予定の長期借入金	80,088	140,088
その他	77,884	80,412
流動負債合計	164,850	232,163
固定負債		
長期借入金	203,132	413,110
転換社債型新株予約権付社債	200,000	200,000
その他	1,964	1,685
固定負債合計	405,096	614,795
負債合計	569,946	846,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,946,344	2,222,422
資本剰余金	978,724	1,254,802
利益剰余金	△142,520	△204,629
自己株式	△1,990	△1,990
株主資本合計	2,780,558	3,270,605
新株予約権	5,816	1,890
純資産合計	2,786,374	3,272,495
負債純資産合計	3,356,321	4,119,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	124,940	140,825
売上原価	27,027	61,423
売上総利益	97,913	79,401
販売費及び一般管理費	140,421	130,251
営業損失(△)	△42,507	△50,849
営業外収益		
受取利息	4	16
為替差益	1,202	-
未払配当金除斥益	-	687
その他	308	133
営業外収益合計	1,515	837
営業外費用		
支払利息	568	553
為替差損	-	7,847
新株発行費	-	2,382
その他	-	14
営業外費用合計	568	10,797
経常損失(△)	△41,560	△60,809
特別利益		
投資有価証券売却益	69,566	-
特別利益合計	69,566	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	28,005	△60,809
法人税、住民税及び事業税	7,152	1,299
法人税等合計	7,152	1,299
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,852	△62,109
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	20,852	△62,109

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,852	△62,109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	-
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	20,852	△62,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,852	△62,109
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期累計期間において新株予約権の行使に伴う新株発行を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ276,077千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,222,422千円、資本剰余金が1,254,802千円となっております。